

神奈

三

日、市が制定を図る環境基準

金

日、市が制定をを目指す環境影響評価（アセスメント）条例について、今後市内で建設が想定される大規模商業施設などを対象に加えることなどを求める答申をまとめ、市に提出した。市は今後、条例の骨子案などの方策に着手。6月に市議

針。
■中央道(さがみ縦貫道路)
の開通などにより、市内では
はインターチェンジ周辺などで大型開発が見込まれて
いる。このため、同審議会
は答申で、一般的な道路や
土地区画整理などのほか、
対象事業として大型商業施

合させて開催されている。
古いだるまを供養するお焚き上げたん
も行われたほか、甘酒も振る舞われ
た。

相模原市

「一層の検証必要」 政令市移行3年議会が総括

相模原市議会は28日、大都市制度に関する特別委員会（阿部善博委員長）を開き、2010年4月の政令指定都市移行から3年間の総括を行った。今月中旬から財政収支の状況などテーマごとに質疑、評価を進めており、31日で終了となるこの日は、各委員からあらためて移行後の丁寧な検証や市民との情報共有する必要性を指摘する意見が相次いだ。

市民と情報共有も

最終日は、区制や08年策定の「市政令指定都市ビジョン」（さがみはらSビジョン）などをテーマに市側への質疑や評価を行った。区制についての繪括で、寺田弘子氏（新政クラブ）は「まだ職員が手探りで不安を抱えている。区の権限拡大が必要」と強調。栄裕明

氏（公明）も「区の予算、区長の裁量権のある予算を増やすべき」など区役所機能の強化を求めた。

一方、江成直士氏（市民連合）からは「合併後の旧津久井4町を含む緑区との一体化が重要。住民の二・三をしつかりと把握し、明確にして進めていくべき」

「精度の高い議論をするに
にくぎを刺した。
大都市制度の議論に向け
て五十嵐千代氏（颯爽）は
井克彦氏（共産）は「政令
市になり、大型開発優先に
傾くことを懸念。住民にと
つて暮らしやすく快適な街
をつくっていく」とからず
れてはいけない。本末転倒
にならないように」と市側

風邪予防にも効果
みかん湯へどうぞ
来月3日、相模原で
風邪予防や肌の老化防止
に効果があるといわれるみ
かん湯が2月3日、相模原
市立新磯ふれあいセンター
(南区)で開催される。年
代を問わず、市外からも利
用できる。

浴室などもある同センタ
ーは、お年寄りのレクリエ
ーションや仲間づくりの場
として活用されている。健
康増進に役立ててもらおう
と5年前から毎年2月、市

民や職員が、干したミカンの皮を持ち寄り、浴槽に浮かべるみかん湯を実施している。

センター担当者は「寒い日々が続くが、つかの間でもみんなで体をぽかぽかに温めましょう」と来場を呼び掛けている。

午前10時半から午後4時まで。大人200円、65歳以上と中学生以下100円。障害者手帳を持つ人は無料。問い合わせは、同センター☎046(255)1311。(中尾浩之)

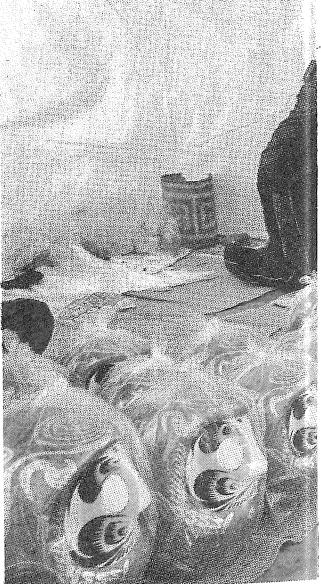
A black and white photograph capturing a dynamic moment during a track and field sprint race. Several male athletes are shown in mid-stride on a running track, with one runner on the far left appearing to be in the middle of a baton exchange. To the right, a female official in a dark uniform and cap stands with her back to the camera, holding a clipboard. The clipboard features a prominent large number '11'. In the background, more officials and spectators are visible, some standing near a building with vertical signs. The scene conveys a sense of intense competition and organized sportsmanship.

はより詳細なデータが必要だ」と指摘。小野弘氏（新政ク）は、政令市施行時にその是非を問う住民投票を求める直接請求もあつたことを踏まえ、「あれだけの議論を経て選択した政令市。議会だけでなく、行政もきちんととした検証、議論をすることが大切だ」と話

阿部委員長は委員会終了後、「議会として政令市施行の総括は例がない。議案の審査ではないので難しい面もあつたが、さまざまに意見が出て、大都市制度への議論につながると思ふ」と総括した。

区対抗と
き、高校
ランナー
は約42キロ
走った。各部門
の市民
なうこうと
ナーハーは次
の市民
送つてい
子、高校など5部門に95チ
野運動公園を発着点に行わ
れた。写真。地区対抗、女
が26日、厚木市中荻野の荻
「あつぎ駅伝競走大会」
厚木で駅伝大会
5部門95チーム

地元客などでにぎわった下鶴間不動尊の「だるま市」



加山市長
副市長▽小早
まつり実行
委員長ほか
山口紀生校
又更生保護
館)▽県美
相模原支部
気工事工業
町議会議長
町・伏見悦
福祉法人経

三

最終日は、区制や08年策定の「市政令指定都市ビジョン」（さがみはらSビジョン）などをテーマに市側への質疑や評価を行った。区制についての総括で、寺田弘子氏（新政クラブ）は「まだ職員が手探りで不安を抱えている。区の権限拡大が必要」と強調。栄裕明

氏（公明）も「区の予算、区長の裁量権のある予算を増やすべき」など区役所機能の強化を求めた。

一方、江成直士氏（市民連合）からは「合併後の旧津久井4町を含む緑区との一体化が重要。住民のニーズをしっかりと把握し、明確にして進めていくべき」

市民と情報共有も

相模原市議会は28日、大都市制度に関する特別委員会（阿部善博委員長）を開き、2010年4月の政令指定都市移行から3年間の総括を行った。今月中旬から財政収支の状況などテーマごとに質疑、評価を進めており、3日目で最終日となるこの日は、各委員からあらためて移行後の丁寧な検証や市民との情報共有する必要性を指摘する意見が相次いだ。

相模原市 「二層の検証必要」 政令市移行3年 議会が総括

などの意見が出された。このビジョンについて、藤井克彦氏（共産）は「政令市になり、大型開発優先に傾く」と懸念。住民にとって暮らしやすく快適な街をつくっていくことからずれてはいけない。本末転倒にならないように」と市側にくぎを刺した。

大都市制度の議論に向け五十嵐千代氏（颯爽）は精度の高い議論をするに

風邪予防や肌の老化防止に効果があるといわれるみかん湯が2月3日、相模原市立新磯ふれあいセンター（南区）で開催される。年代を問わず、市外からも利用できる。

風邪予防にも効果
みかん湯へどうぞ
来月3日、相模原で

はより詳細なデータが必要だ」と指摘。小野弘氏（新政ク）は、政令市施行時にその是非を問う住民投票を求める直接請求もあつたことを踏まえ、「あれだけの議論を経て選択した政令市。議会だけでなく、行政もきちんとした検証、議論をすることが大切だ」と話

地元密などひしがれつた水鶴門

不動尊の「だるま石」

A close-up photograph of a marbled paper surface, showing intricate patterns of white, grey, and dark brown swirling designs.

加山相模原市
副市長▽小星副
まつり寒行委員
委員長ほか▽レ
山口紀生校長
区更生保護女性
館▽県美容業
相模原支部新年
氣工事工業組合
詞交換会(中央
町)・伏見悦一
町・伏見悦一



5部門95チーム
厚木で駅伝大会

区対抗と女
子、高校、チ
ーは約4回をい
ランナーで、
一斉にスク
ナーは次走者
なごうと激
くの市民らが
送つていた。
各部門の
り。

阿部委員長は委員会終了後、「議会として政令市施行の総括は例がない。議案の審査ではないので難しい面もあつたが、さまざまなる意見が出て、大都市制度への議論につながると思う」と総括した。

新加山相模原市
副市长▼小星副
まつり寒行委員會
委員長ほか▼レ
山口紀生校長▼
区更生保護女性
館▼県美空義
相模原支部新年
氣工事工業組合
詞交換会（中央
町）伏見悦夫町
町議會議長▼大
福祉法人經營者

副市長▽小早川
まつり実行委員会
委員長ほか▽山口
山口紀生 校長▽
区更生保護女性
館▽県美育会
相模原支部新年
氣工事工業組合
詞交換会▽中央
町議会議長▽小
福祉法人経営者